

研究室紹介

社会中枢システムラボ
Socio-Critical System Laboratory (SCS Lab)

手嶋龍一教授

元・NHK ワシントン支局長

専門分野：巨大・複雑システムをめぐるインテリジェンス
とクライシスマネジメント

著書：「ウルトラ・ダラー」「外交敗戦」（新潮社）、「イ
ンテリジェンス 武器なき戦争」（幻冬舎、共著）など



研究室のメンバー

1 研究室の概要

我々社会中枢システム (Socio Critical System) 研究室 (略称 SCS 研) では、手嶋龍一教授、保井俊之教授を中心に社会システムを主な研究領域とし、既存の社会システム論とは異なるシステムエンジニアリング的な観点からの研究を試みている。1 期生の多くは社会人

学生であったが本年度 2 期生は新卒学生も加わり、バラエティーに富んだ人材構成で且つ、研究テーマも製薬業界から建築業界の問題などそのテーマは幅広い。

2 SCS 研 - 2 年目の総括

本年度は保井教授が SDM 特別招聘教授から、2 年間の期限付きではあるが教授として常時学生の指導にあたってくださるようになった。保井教授の新設講座「社会中枢システム」では、政策立案の観点とシステムエンジニアリングの観点を交えた社会システムの構築に関する講義は非常に興味深く、学生からの質疑応答も活発に行われる有意義で活気ある講義となった。

また本年度は研究室として初めて合宿を行い、日常時間の取りにく

い社会人学生も集中的に研究を進める良い機会となった。またその合宿では中間発表準備やテーマ発表準備など SDM でのイベント準備の役目も果たし、非常に充実した内容となった。

ゼミ運営に関して今年は修士 2 年中島君がゼミ幹事となり、毎回のゼミの牽引役として教員と内容について検討およびスケジュールリングなどを行うようになり、ゼミ運営の仕組みが出来上がった。

3 今後の活動など

このニュースが発行されるころには 08 春入学生の修士論文発表会も終了し、ひと段落着くが、同時に 08 秋生も 9 月の修了に向けて、また 09 春生は中間発表を控え、それぞれ学生達も忙しく研究に取り組んでいる時期ともなる。SDM 研究所としての取り組み (製薬関連の政策提言プロジェクトやアニメーション関連の政策提言プロジェクト) とも合わせ、SDM 研究科 3 年目に更なる進歩を遂げられるように着々と研究成果を積み重ね、社会システムへの提言活動に積極的に取り組んでいく所存である。



活動中の様子



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館

Tel : 045-564-2518 Fax : 045-562-3502 E-mail : sdm@info.keio.ac.jp

* Fax や E-mail での連絡の際には、お手数ですが Subject の先頭に「SDM 研究所」とお書きください。

SDM
System Design and Management